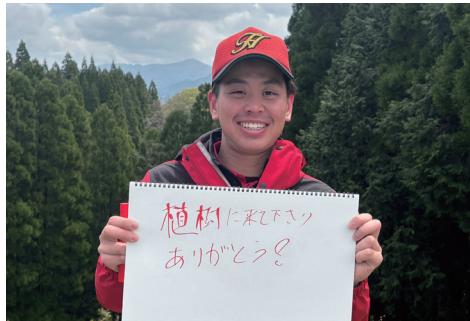




年次報告書 2025 Annual Report



Present Tree® おかげさまで 20 周年



20周年を迎えて、改めての決意

100年後の森を美しいまま引き継ぐために

認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所
理事長 鈴木敦子



プレゼントツリーの【目指す未来への取り組み】

- ①森林管理体制の進化

新たな森の管理体制の構築
- ②返還後の森の活用法

次の10年の森の活用方法確立
- ③林政絶滅エリア挺入れ

新たな森林再生手法の考案
- ④里親43万人の有効活用

地方創生セクターとの協働連携
- ⑤47都道府県での展開

全国カバーし①～④を推進



また、協定満期を迎えて、良好な森へと育った場所が各地で生まれる一方で、その後の10年をどう活かし、どう地域に根づかせていくのかという問いには、まだ十分な答えを持っていません。育てた森を次の世代へ引き継ぐための、新たな活用フェーズの確立が求められています。

ささらに、林業の衰退とともに、林業家や林政窓口そのものが姿を消した、いわば「林政絶滅エリア」が始まっています。人の手が入らなくなつた里山は、獣害や斜面崩壊のリスクを高め、結果として砂防工事が繰り返され、景観や地域の魅力も失われていきます。こうした森は、ますます支援者を募りにくく存在となり、負の連鎖に陥っています。

一方で、プレゼントツリーをこれまで育んできた里親の皆様は、全国でのべ43万人にのぼります。この大きな「関係人口」としての力を、森づくりやツアーパートナーなどと組んで、地域づくり全体へとどう活かしていくのか。地方創生を担う多様なセクターとの協働が、今後の鍵となります。

現在、プレゼントツリーは14都道県で展開していますが、100年先の森を見据えるならば、全国へと視野を広げ、これらの課題一つひとつに向き合っていく必要があります。長く続けてきたお陰様で、「この地域の森の里親になりたい」「自社の休眠山林で、新たな森づくりを始めた」といったお申入れを頂く機会も増えてきました。

そうしたお声を力に変えながら、森と地域を支える新しい仕組みを育ててまいりたく、100年後、日本中の森が笑っていられる未来のために、引き続き、皆様と共に歩み続けられますよう、心よりお願い申し上げます。

しかし、制度や方針が整いつつある一方で、現場を取り巻く状況は決して楽観できるものではありません。経済林としての成立を断念せざるを得ない森林が増加する中で、それを引き受け、継続的に管理していく体制は、全国的に弱体化、あるいは不在の状態になります。森林を「所有する」とど、「守り続ける」ことが、乖離し始めています。

身の引き締まる思いです。

また、協定満期を迎えて、良好な森へと育った場所が各地で生まれる一方で、その後の10年をどう活かし、どう地域に根づかせていくのかという問いには、まだ十分な答えを持っていません。育てた森を次の世代へ引き継ぐための、新たな活用フェーズの確立が求められています。

ささらに、林業の衰退とともに、林業家や林政窓口そのものが姿を消した、いわば「林政絶滅エリア」が始まっています。人の手が入らなくなつた里山は、獣害や斜面崩壊のリスクを高め、結果として砂防工事が繰り返され、景観や地域の魅力も失われていきます。こうした森は、ますます支援者を募りにくく存在となり、負の連鎖に陥っています。

一方で、プレゼントツリーをこれまで育んできた里親の皆様は、全国でのべ43万人にのぼります。この大きな「関係人口」としての力を、森づくりやツアーパートナーなどと組んで、地域づくり全体へとどう活かしていくのか。地方創生を担う多様なセクターとの協働が、今後の鍵となります。

現在、プレゼントツリーは14都道県で展開していますが、100年先の森を見据えるならば、全国へと視野を広げ、これらの課題一つひとつに向き合っていく必要があります。長く続けてきたお陰様で、「この地域の森の里親になりたい」「自社の休眠山林で、新たな森づくりを始めた」といったお申入れを頂く機会も増えてきました。

そうしたお声を力に変えながら、森と地域を支える新しい仕組みを育ててまいりたく、100年後、日本中の森が笑っていられる未来のために、引き続き、皆様と共に歩み続けられますよう、心よりお願い申し上げます。

プレゼントツリー20周年に際しましては、格別の御祝意ならびにご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。皆様より寄せられた温かいお言葉は、私どもにとりまして何よりの励みとなっております。

2005年に「人生の記念日に樹を植えよう!」と呼びかけて始動して以来、お陰様で、全国60カ所の森林整備協定（契約）林において、43万本を超える記念樹が、多くの方々に支えられながらスクスクと育っています。

協定期間満了までの10年間、都市に暮らす人々が里親となり、地元の方々と協力して森を育てる仕組みとして立ち上げた2000年代初頭は、再造林未済地が深刻化し、日本の木材自給率が史上最低水準にあった時代でした。森と人との新しい関係をつくるこの挑戦は、20年の歳月を経て、里親の皆様と共に育ってきた苗木が、各地で立派な森の一画を形成しつつあります。苗木が、各地で立派な森の一画を形成しつつあり、長期視点に立った闘いの力を雄弁に物語っています。

近年、林野行政においても、「生物多様性を高めるための林業経営」や「里山広葉樹林の再生」が、漸く本格的に議論され始めました。20年前、広葉樹造林や里山再生を訴えても、なかなか取り上げられなかつた時代を思うと、隔世の感を覚えると同時に、ようやく社会の側がこの課題と向き合う局面に入ったのだと身の引き締まる思いです。

しかし、制度や方針が整いつつある一方で、現場を取り巻く状況は決して楽観できるものではありません。経済林としての成立を断念せざるを得ない森林が増加する中で、それを引き受け、継続的に管理していく体制は、全国的に弱体化、あるいは不在の状態になります。森林を「所有する」とど、「守り続ける」ことが、乖離し始めています。

身の引き締まる思いです。

また、協定満期を迎えて、良好な森へと育った場所が各地で生まれる一方で、その後の10年をどう活かし、どう地域に根づかせていくのかという問いには、まだ十分な答えを持っていません。育てた森を次の世代へ引き継ぐための、新たな活用フェーズの確立が求められています。

ささらに、林業の衰退とともに、林業家や林政窓口そのものが姿を消した、いわば「林政絶滅エリア」が始まっています。人の手が入らなくなつた里山は、獣害や斜面崩壊のリスクを高め、結果として砂防工事が繰り返され、景観や地域の魅力も失われていきます。こうした森は、ますます支援者を募りにくく存在となり、負の連鎖に陥っています。

一方で、プレゼントツリーをこれまで育んできた里親の皆様は、全国でのべ43万人にのぼります。この大きな「関係人口」としての力を、森づくりやツアーパートナーなどと組んで、地域づくり全体へとどう活かしていくのか。地方創生を担う多様なセクターとの協働が、今後の鍵となります。

現在、プレゼントツリーは14都道県で展開していますが、100年先の森を見据えるならば、全国へと視野を広げ、これらの課題一つひとつに向き合っていく必要があります。長く続けてきたお陰様で、「この地域の森の里親になりたい」「自社の休眠山林で、新たな森づくりを始めた」といったお申入れを頂く機会も増えてきました。

そうしたお声を力に変えながら、森と地域を支える新しい仕組みを育ててまいりたく、100年後、日本中の森が笑っていられる未来のために、引き続き、皆様と共に歩み続けられますよう、心よりお願い申し上げます。

20年のご支援・ご協力に感謝！
プレゼントツリーは100年後を見据えて、
たくさんのパートナーと共に活動を加速していきます

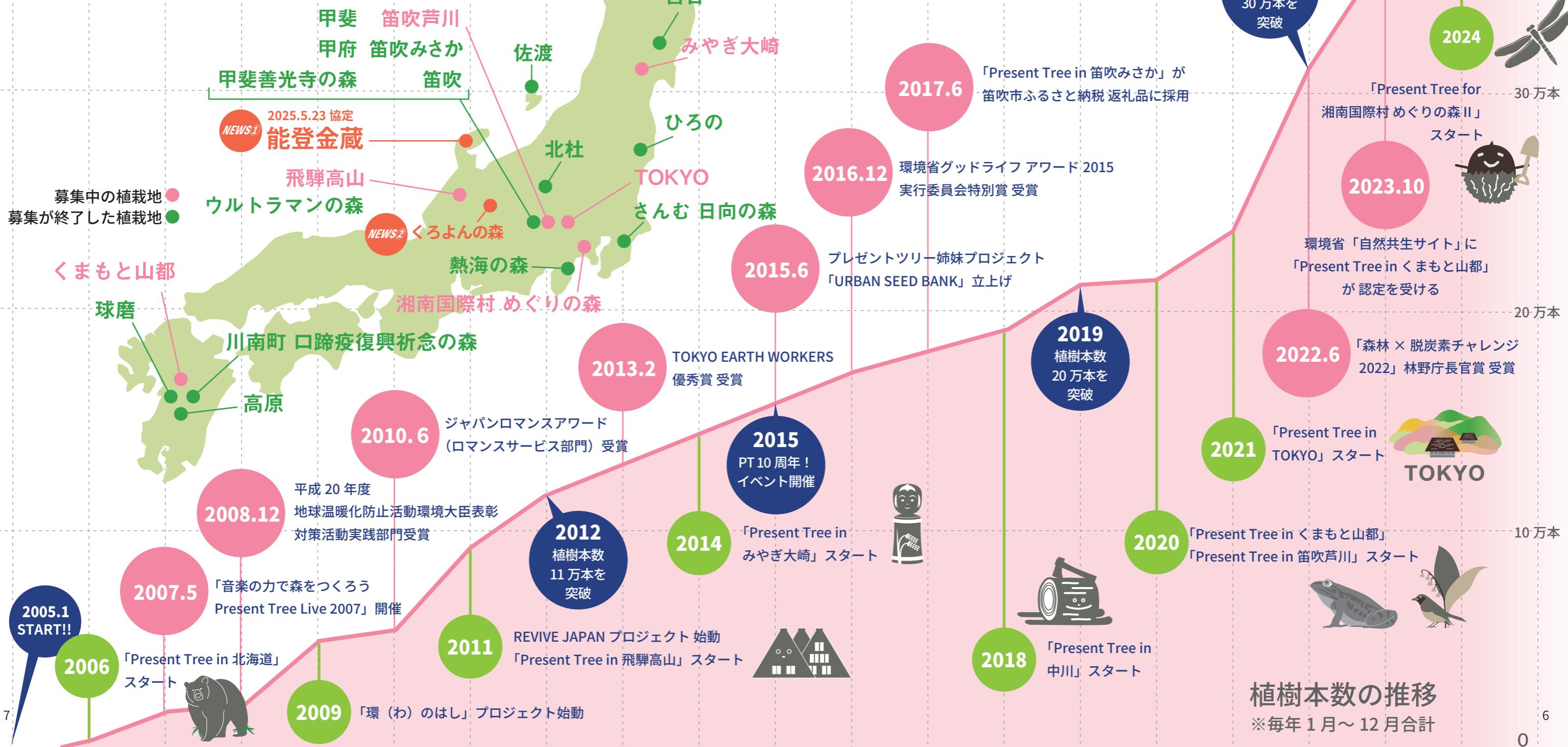
7/11

「Present Tree 20th
サミット in TOKYO」
@ 大手町 Ohana Floor
58社 87名参加



プレゼントツリー 20年のあゆみ

「たくさんの人達の興味と足が森に戻る、集まる仕組み」として、プレゼントツリーの挑戦はスタートしました。



2025年12月までの累計実績

協定林数：国内 **60** 力所

里親受入本数：**432,582** 本

企業里親数：**555** 社

個人里親数：**1,695** 名

2025 20th!
to be continued...

2024

植樹本数
40万本を
突破

40万本
2025
「Present Tree in
能登金蔵」スタート

2024

植樹本数
30万本を
突破

30万本
2025
「Present Tree for
湘南国際村めぐりの森II」
スタート

2023.10

環境省「自然共生サイト」に
「Present Tree in くまもと山都」
が認定を受ける

2022.6
「森林×脱炭素チャレンジ
2022」林野庁長官賞受賞

「Present Tree in
TOKYO」スタート

2021

「Present Tree in くまもと山都」
「Present Tree in 笛吹芦川」スタート

2020

植樹本数の推移
※毎年1月～12月合計



※一部、会社名を省略させていただいております。



10/4

9社 14名
参加

「PT 能登金蔵」企業向けモニターツアー開催！

能登の現状を視察し、金蔵の方々との交流を深める日帰りツアー。
今後の企業支援やイベント実施につながる有意義なツアーよとなりました。

2 南志見市場



奥能登の復興に携わる奥田さんから、災害時の状況や復興の進みについてお話を聞きました。

1 能登空港



能登空港からバス乗車。羽田から能登空港までは約1時間と、意外と近いんです！

3 白米千枚田



1000枚の棚田のうち250枚の作付けが始まった千枚田。隣の道の駅では地元物産の買い物もできます。

4 「PT 能登金蔵」で植樹！



奥能登の地元植生の広葉樹であるクヌギ・コナラ100本を植えました。石川県山林協会の坂口さんが指導してくれます。

6 地元の方との交流



金蔵寺にて、地元を盛り上げようと様々な取り組みを行っている石崎さん・井ノ池さんと交流会。今回の視察を経ての感想も参加者の皆様からいただき、温かい交流が行われました。

5 里山の生物の話



いしかわ自然学校インストラクター・野村先生をお呼びして、能登の生物についてのお話とビオトープ予定地を見学。「PT 能登金蔵」は自然共生サイトへの認定を目指して活動していく予定です。

ご参加ありがとうございました！
2026年は一般向けイベントも企画予定です。
復興の森づくりへのご支援、お待ちしています！



◀ 「PT 能登金蔵」詳細はこちらから



石川県奥能登農林総合事務所にて行なわれた「Present Tree in 能登金蔵」協定式の様子。左から、プレゼンツリーの誘致にご尽力くださった石川県山林協会 坂口専務理事、土地所有者である金蔵共有山林管理会 井池会長、理事長 鈴木、施業を担当くださる石川県森林整備協同組合 水上理事長、奥能登農林総合事務所 葛城所長。

能登に賑わいを取り戻す、復興の森づくり 「Present Tree in 能登金蔵」スタートしました！



金蔵共有山林管理会 会長の井池さん（左）。金蔵生まれ金蔵育ちで、金蔵集落の昔話から今の暮らしまで、いろんなことを教えてくれます。ぜひ金蔵を訪れてお話を聞いてみてほしい！

そんな金蔵地区で、プレゼンツリーの力に大きな期待を寄せてくださっているのが、地区会長の井池さん。「今まで荒れ放題だった山を、森林組合やたくさんの支援者の協力を得て、10年間山の世話をしているだけのことはとてもありがたい。集落の者としては、荒れた山を見るのは辛かつたですから」と話します。井池さんは、植栽地を所有する金蔵共有山林管理会の会長でもあります。



金蔵地区的現在の様子。手前に広がっているのは美しい野原…ではなく棚田の跡地です。地震でため池が機能しなくなり、2年間耕作できていません。

協定の当事者は、地権者のほか森林整備を担う石川県森林整備協同組合、地元行政からは石川県奥能登農林総合事務所、そして立会人として石川県山林協会が入った万全の体制。協定式当日は新聞やテレビなど地元メディアが駆けつけ、復興の森づくりがスタートしたことを各媒体で報道いたしました。プレゼンツリーに対する地元の期待をひしひしと感じ、身が引き締まりました。

募集が始まると、すぐに個人の方からの寄付が続々と集まりました。「能登のため何かしたい！」という思いが形になったのです。続いて、「能登の復興を支援したい」という企業からの問合せが増え、それまでの本業とどうコラボレーションしていくか、具体的な話が進んでいます。10月4日には、支援企業や支援予定企業の担当者の皆さんとともに金蔵を訪れ、能登の現状や植栽地での植樹体験を行いました。詳細は左ページをご覧ください！



自社の所有地を“みどりのダム”に! 関電不動産開発「くろよんの森」が始動

分譲マンション「シェリア」または分譲戸建て住宅「シェリアガーデン」ご契約1件につき
苗木1本を植樹する「シェリアツリープロジェクト」を、社有地で展開へ



人に、街に、明るい未来を
関電不動産開発
×
Present Tree.

立山黒部アルペンルートの入口に位置する、長野県大町市。ここは、昭和30年代に関西電力が建設した「くろよん」と黒部ダムへ通じる長野県側にあります。ダム開発から60年余、未活用のままになっている大町市の所有地で森づくりを行いたい——昨年、関電不動産開発様より、プレゼントツリー事務局へそんな依頼をいただきました。

まず取り組んだのは「シェリアツリープロジェクト」。分譲マンション「シェリア」または分譲戸建て住宅「シェリアガーデン」のご契約1件につき、プレゼントツリーを通じて苗木1本を植樹するというもので、「PT飛騨高山」に植えていただきました。その間、関係各所と調整を重ね、今年5月には地元行政である大町市の立ち合いのもと、関電不動産開発・北アルプス森林組合・環境リレーションズ研究所による森林整備協定を締結。苗木を自社の所有地に植える「関電不動産開発くろよんの森」プロジェクトがスタートを切りました。整備対象となるのは50ヘクタールで、まずは日向山入口付近の1ヘクタールの整備から着手し、地元植生の樹種を1ヘクタールあたり2,300本を植えていく計画です。

キックオフ植樹イベントを開催

そして10月30日には、キックオフとなる植樹イベントが開催され、新入社員を

含む15名にご参加いただきました。秋晴れのお天気にも恵まれ、和気あいあいとした雰囲気の中、100本の苗木はあつという間に植えられていきました。「ゆっくりは分譲マンションや戸建てをご契約いただいたお客様を招いての植樹イベントも行ないたい」と、経営管理本部の山野さん。「くろよんの森」から車で5分ほどの場所には関電不動産開発が所有しているホテルもあるので、植樹体験を楽しんで1泊し、翌日は黒部ダム観光なんてプランも良いですよね!

持続可能な「みどりのダム」 自然共生サイト申請も視野に

「この『くろよんの森』は、持続可能な企業として進んでいくための象徴的な場所だと考えています」と山野さんは話します。植樹はもちろん、育樹などの森の手入れや整備、生物多様性保全を目指し「自然共生サイト」への申請も視野に入れた生き物調査など、様々な角度から「森づくり」に社員やお客様も巻き込んでいくことで、関電不動産開発という企業の「ファン」をつくる「森づくり」を通じた企業ロイヤリティ向上に向けた取り組みとして、新たな挑戦をはじめた関電不動産開発様。戦後復興の象徴であった黒部ダム、そのふもとで「くろよんの森」は持続可能な社会に向けて、企業だけなくお客様も巻き込んで地域を豊かにしていく、まさに現代を象徴する「みどりのダム」となるでしょう。



◀休眠山林の活用についてはこちらからお問い合わせください

今、企業の間でじわじわ浸透中！

祝花の代わりに



植樹に寄付を よびかける！

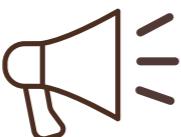


お祝いがの気持ちが
地球へのプレゼントになる



贈る側も贈られる側も、ともに森林再生活動に貢献できます。

サステナビリティへの 取り組みを PR



社内外に自社の取り組みを発信する絶好のチャンス！リリースやSNS等でもぜひ発信を。

ステークホルダーを たくさん巻き込む



1本の寄付でも、多くの力で森をつくることができます。集まった樹を植えるイベントも開催可能。



お客様はもちろん、
投資家や株主へも
良いアピールになりそ



樹を植えに行けるんだ…！
みんなで行ったら絶対楽しいな♪

お祝いのご寄付いただいた企業様には、自動返信にてお礼メールを送付します。企業様の申込状況については、寄付申込ページに付随するマイページよりCSVダウンロードが可能。

④受付開始！



プレゼントツリー公式サイト内に
貴社専用の寄付申込ページを作成
(有料)。掲載する文言、金額や募
集開始日なども調整します。

●社有寄付金の活用

作ってもらった専用ページで
お祝いをいただいた企業の情報も
一括管理できるんだ！



◀ 「祝花の代わりに植樹へ寄付」 詳細は
こちらからお問い合わせください

本社移転が行なわれた〇〇株式会社。

どうやらお祝いに、たくさんのお花が届いているようです...



事例①お客様をお招きして

明治安田生命保険相互会社様

お客様とそのご家族をお招きして行なわれた「里山BONSAI」ワークショップ。小さなお子様も多かったのですが、子どもはもちろん大人も土や苗を触ってとっても楽しそうだったのが印象的。5月には「PT笛吹芦川」にてお客様をお招きしての植樹イベントも決定しているので、次回は森でお会いできるのを楽しみにしています♪



事例②森への入り口

日本コンセントリクス株式会社様

2024年秋、プレゼントツリーへのご寄付を検討される中で、まずは森への入口として「里山BONSAI」ワークショップをランチ時間に実施。オンラインで全国をつなぎ、約100名の社員さまにご参加いただきました！森への理解を深めたうえで、今年は「PT笛吹芦川」での植樹イベントも実施、全国から23名の社員さまに植樹を体験いただきました。



里山BONSAI®

ワークショップを開催しませんか？



里山BONSAIは、プレゼントツリーから生まれた姉妹プロジェクト。

ここ数年では、森の現状を知る第一歩として、親子向けイベントとして、お客様を招待して、里山BONSAIに取り組む企業も増えています。前半では森の現状を知るセミナー、後半では実際に手を動かしてBONSAIをつくります。出来上がったBONSAIは、ぜひご自宅で育ててみてください。



ワークショップの流れ

- ①日本の森の話
- ②里山BONSAIづくり
- ③私のエコ活動宣言！

みんなでつくり！

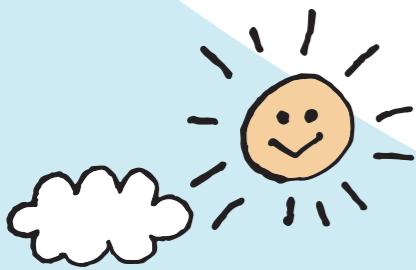
お家の育て方は / パンフレット参照 /

自分が環境のためにできることを旗に書いて、宣言してください。

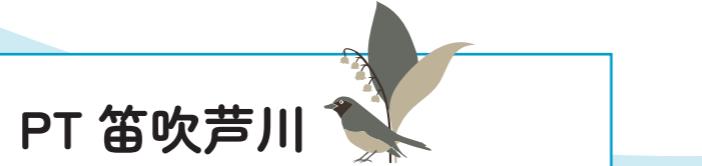
スタッフが丁寧に説明します。複数人で参加者の補助を行います。参加者の人数や年齢に合わせて講義を行います。森のクイズにもぜひチャレンジしてみて！

理事長の鈴木が、参加者の人数や年齢に合わせて講義を行います。森のクイズにもぜひチャレンジしてみて！





プレゼントツリー主催 植樹イベント2025 4か所・162名にご参加いただきました！



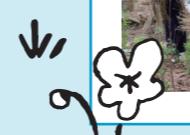
4/6
52名参加

PT 湘南国際村めぐりの森II

実に14年ぶりの開催！
混植密植方式での植樹はPTではここだけ

実際に14年ぶりにプレゼントツリー植樹イベントの舞台となった湘南国際村めぐりの森。多種多様な樹種をギュギュっと密に植える「混植・密植方式」を採用した森は、通常の10倍のスピードで育つため、14年前に植えた森もこんもりと大きく育っていました。湘南国際村は平坦で、クワも使わない植樹方法なので、お子様も存分に楽しめるのも、この植栽地の良いところ。途中雨が降り出してしまいましたが、参加者の皆様のおかげで35種類1000本の樹を植え切れることができました。

東京からバスでも電車でも1時間程度とアクセス良好、企業様の独自イベントの開催場所としてもオススメです。

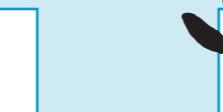


PT 飛驥高山

10/26
14名参加

こちらは11年ぶりの開催！
手入れされた秋の森が美しい

2011年から植樹を行っている「PT 飛驥高山」。植樹イベントは2014年から開催できていなかったのですが、ついに今年11年ぶりの開催が決定！初日はたくさんの方々に驚きながらも高市内の見どころ（古い町並み、飛驥家具ショールームなど）をめぐり、2日目に植栽地へ。14年前に植えた森の姿は圧巻で、そこそこで紅葉の始まつた広葉樹の美しさに息を呑みました。植樹体験では生憎雨に降られてしましましたが、皆様おかげで無事に100本を植え切れることができました。秋の美しい山々と大自然、そして高山グルメも存分に堪能いただけたのではないかでしょうか。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました！



4/13
25名参加

PT くまもと山都

今注目の自然共生サイト認定地域
来年は生き物調査ができるかも…！

5回目となる今年は、南フランスのコスメブランド・ロクシタン様との共催！初日に山都町のグルメや見どころを満喫し、2日目に植樹祭を行いました。風が強く寒い日ではありましたが、山都町・熊本県副知事をはじめ地元の方々にも出席いただき、美しい里山の風景を見下ろしながら1000本の広葉樹を植えることができました。

2023年に環境省より「自然共生サイト」に認定されている「PTくまもと山都」。田んぼの脇にあるビオトープには、絶滅危惧種の昆虫や水生生物が生息しています。来年の植樹イベントでは、このビオトープで皆さんと生き物調査がしたい！と田下企画中。ぜひお楽しみに…！



スタッフ紹介 & 編集後記

「プレゼントツリー一年次報告書 2025」、最後までご覧いただきありがとうございます。

プレゼントツリーは認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所が運営しています。

東京・千代田区神田小川町の事務所では、理事長以下スタッフが和気あいあいと仕事をしています。

森はもちろん、ぜひ事務所のほうにも遊びにいらしてくださいね♪

広報／小松 麻理子

2026 年の広報としての目標は、SNS の更新をがんばること
ぜひフォロー & いいねをいただけると大変励みになります…！

法令対応／沼里 昭

環境法令コンプライアンスのコンサルティングを担当しています。
森林などを保護するためには法令順守が重要です。興味がある方は一度ご相談ください。



グループ経営責任者／名倉 誠

プレゼントツリーについては、地球・森にありがとうの気持ちを大切に、日々活動しています。
想いが集まって、未来の森につながっていくのが楽しみです

経理／宮崎 涼香

経理としてプレゼントツリーを支えています。ひとつひとつの想いが集まって、未来の森につながっていくのが楽しみです

理事長／鈴木 敦子

お客様窓口／橋本 奈美

森に入ると、草木の匂い、鳥の声をききながら幸せな気分になります
♦PT の森でお待ちしております！
是非一緒に樹を植えましょう

法人運営事務局長／石塚 仁恵
2025 年 10 月より入社いたしました石塚です。まだまだ分からぬ事だらけですが、森と一緒に成長出来たらと思っています

事業運営事務局長／石森 英里

プレゼントツリーは今年で 20 周年を迎ました。これもひとえに皆様の温かいご支援・ご協力のおかげです。今後も事務局メンバーと力を合わせ、「森林再生」と「地域振興」の両立を目指して取り組んでまいります。

プレゼントツリーの SNS をチェック！

プレゼントツリーのイベントや日常の様子を発信しています

\注目！/



Youtube
@Presenttree



プレゼントツリーのイベント動画がいっぱい！ どんな雰囲気なのか気になる方はぜひチェックしてみてください♪



Facebook@presenttree2005



Instagram@presenttree_urbanseedbank



X@PresentTree



PT くまもと山都



4/18 土 19 日
眼下に広がる棚田と茶畑に癒されます。有機農法発祥の地である山都町は美味しいものばかり！ グルメ好きにおすすめ

募集開始は 1 月下旬予定

PT 笛吹芦川



5/17 日
若葉の季節、芦川の美しい新緑に心が洗われます。森林組合さんお手製の山梨の郷土料理・ほうとうを、ぜひ味わって。

募集開始は 4 月上旬予定

PT 湘南国際村めぐりの森 II



6/6 土
相模湾と富士山を望む好立地！ 東京から近く坂のない植栽地なので、植樹初心者やお子様連れにもぴったりです♪

募集開始は 4 月下旬予定

日程調整中

2026 年 秋 のイベント

決まり次第、会員向けメール & LINE にてお知らせします！
まだ登録していない方は、右の QR コードよりメール or LINE の
お好きなほうでぜひご登録ください（会員登録は無料です）▶▶▶

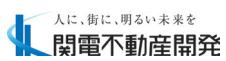
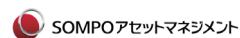
PT 能登金蔵

PT 飛騨高山

PT みやぎ大崎



里親企業一覧



株式会社



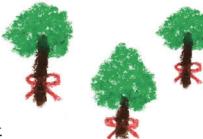
三菱電機エンジニアリング



VJA / アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社 / プライム プラネット エナジー & ソリューションズ株式会社 / 株式会社ビューティガレージ / 株式会社福岡銀行 / 株式会社ジェイウッド / 株式会社コスマロール / シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社 / 株式会社レジデンシャルインターネット / 株式会社 東海テクノ / 株式会社ケイディアイ / 株式会社 NST/ 株式会社 山梨中央銀行 / フィリックス株式会社 / 株式会社富田商店 (エコペイントネットワーク) / セイノースーパーエクスプレス株式会社 / ディー・アンド・エイチ株式会社 / 一般財団法人 東京マラソン財団 / 泰来株式会社 / 株式会社メニコン / 株式会社ホットフィールド / 株式会社十八親和銀行 / 株式会社ジェーシービー / 丸紅木材株式会社 / クロスプラス株式会社 / 三菱 UFJ ニコス株式会社 / 株式会社キヌガワ名古屋 / 株式会社中日新聞社 / タンスのゲン株式会社 / 東京センチュリー株式会社 / 株式会社ほっとエコライフ関西本店 / P&G ジャパン合同会社 / 株式会社リム・プランニング / 有限会社花心 / 株式会社イムラ / CMA CGM JAPAN 株式会社 / 株式会社プラボーグループ / ヤフー株式会社 / 株式会社 A・I・C 広島マネジメント / ジュニパーネットワークス株式会社 / 株式会社 TD モバイル / 株式会社 M&A 総研ホールディングス / ソウ・エクスペリエンス株式会社 / 一富士フードサービス株式会社 / 株式会社 Nexfort/TerraCycle Japan 合同会社 / 株式会社ニフティカラーズ / 株式会社 豊隆機器サービス / 株式会社 東芝 / ヤブタ塗料株式会社 (エコペイントネットワーク) / サムスン電子ジャパン株式会社 / 株式会社オカムラ / 日商エレクトロニクス株式会社 / 日本電気株式会社 / 日本ナショナル製罐株式会社 / ダッタヨーガミュージックセンタージャパン / 株式会社ティーガイア / 有限会社三機システム工業 / アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 / キヤノン IT ソリューションズ株式会社 / パロアルトネットワークス株式会社 / PwC Japan 合同会社 / 有限会社ココウエスト / A.T. カーニー株式会社 / 株式会社ネオナチュラル / 株式会社ジャックス / 株式会社キヌガワ京都 / 松月産業株式会社 / エクストリームネットワークス株式会社 / 豊田通商株式会社 / TIS ソリューションリンク株式会社 ほか



企画・運営：認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所
 〒 101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-3-12 神田小川町ビル 8 階
 ☎ 03-5283-8143 / ☎ 03-3296-8656 / ☎ ptmail@presenttree.jp



環境リレーションズ研究所は東京都より認定を受けた「認定 NPO 法人」です（2025 年 7 月認定更新）。当団体へご寄付いただいた場合、個人・法人を問わず税の優遇措置が受けられます。詳しくは公式サイトの「寄付金の税控除について」をご覧ください。